

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科

博士前期課程

令和7年度4月入学

入学試験問題（B日程）

一般選抜（社会人）

専門試験（小論文） 問題冊子

【全般的注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子1冊、解答冊子1冊があることを確認してください。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気がついた場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
4. 設問に注意して解答してください。
5. 受験番号を、解答した解答冊子の表紙と解答用紙の記入欄に記入してください（*解答用紙が複数の場合は全ての用紙に受験番号を記入してください）。
6. 解答用紙の整理番号および合計点の欄には記入しないでください。
7. 解答冊子ならびに問題冊子は全て回収します。

このページは白紙である。

専門試験（小論文）

以下の問1～問3のうち1問を選び解答しなさい。2問以上解答した場合は無効とします。

問1 日本各地において1990年代後半から「地域通貨」が普及しはじめた。地域通貨について300字程度で説明したうえで、日本における地域通貨の展開と今後の課題について500字程度で論じなさい。

問2 生態学や保全生物学の重要な概念であるメタ個体群とは、複数の個体群が繋がりを持つ状況を意味する。そして、メタ個体群の長期的存続を決める要因の一つに、各個体群間の距離が重要と言われている。ではなぜ、メタ個体群の存続性は、この距離によって決まると言えるのか？存続性と距離の関係性の背景として、異なる予測を導く二つの要因と、それらがもたらす両者の関係を、具体例を用いながら800字程度で論じなさい。

問3 『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説理科編』によると「大地の成り立ちと変化」の学習項目には、「思考力、判断力、表現力等を育成するに当たっては、大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、地層の重なり方や広がり方の規則性や、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだし表現させることが大切である。その際、レポートの作成や発表を適宜行わせることも大切である」と記されている。また、この学習を進める際には、「身近な地域の実態に合わせて地形や地層、岩石などの観察の機会を設け、興味・関心を高めるようにする」とも書かれている。兵庫県内のある地域の地質を取り上げて、この学習を中学生に行う際、どのような教育活動の展開が考えられるか。具体的な地域を取り上げ、学習地、教材、指導法、評価方法の在り方について、計800字程度で論じなさい。

下 書 用 紙

下 書 用 紙